

ふれあいの里だより  
Part5

オトシブミの『ゆりかご』

6月、雑木林が一番元気づく季節がきました。緑の葉の立派なドームが完成し、その中では虫たちが元気良く活動を始めます。コアジサイ、オカトラノオ、ホタルブクロといった花にも出会うことでしょう。

また、不思議なものに出会うことがあります。地面に落ちている、木の葉で作った丸い筒。拾いあげてみると、長さ2cmぐらいの巻物のような形をしています。丁寧できちょうめんなその作業、いったい誰が作ったの?と気になります。

初めてエゴノキの下で見つけたとき、巻物を解きほぐし、同じように作ってみようと思いま



コアジサイ



▲ヒメクロオトシブミとゆりかご

した。葉っぱを取り半分に折り…。でも、うまくいきません。何度も挑戦してみましたが、だめでした。すいぶん器用で、暇な人もいるものだと感心したのですが、それがオトシブミという昆虫の『ゆりかご』だと知り、さらに驚きました。

オトシブミは、1cmに満たない昆虫です。葉をたたみ2回ほど巻き上げて、卵を1つ産みます。その後は、くるくる包み込んで、ゆりかごにします。中の子どもは、生まれてからその葉を食べて育つため、外敵から身を守ることができます。このゆりかごは、オトシブミの種類によって、好みの葉や形が違

うようです。また、落とさないでそのまま木につけておくものもあります。この時期、雑木林の中に入ったら、ぜひ探してみてください。

センターでは、「狭山丘陵の甲虫たち」の写真と「夏の花」の植物画を展示中です。

また、6月16日(日)、22日(土)は、自然解説員が観察のお手伝いをします。皆さん、ぜひお越しください。

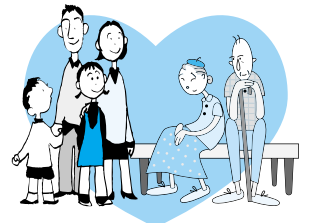
【申し込み・問い合わせ】狭山丘陵いきものふれあいの里センター  
(荒幡782 / ☎939-9412 / 休館日：毎週月曜日)

6月の自然観察会  
《湿地に咲く花・初夏の花》

とき 6月16日(日) / 午前9時30分～午後2時30分

集合 さいたま緑の森博物館案内所  
定員 申し込み先着40人  
持ち物 昼食、筆記用具。お持ちの方は双眼鏡・ポケット図鑑など

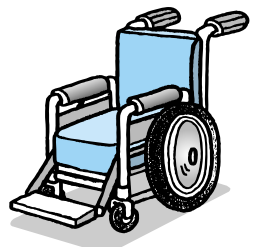
なぜ?なに?  
介護保険<sup>33</sup>



Q1：介護保険で福祉用具を借りられると聞きました。どのようなものがありますか。

A1：心身の機能が低下しても、福祉用具をうまく活用し生活環境を整えることによって、日常生活の自立をはかり介護者の負担を軽減することができます。このため介護保険で、次の福祉用具を借りることができます。なお、支給限度額の範囲内で、かかった費用の1割が自己負担になりますのでケアマネージャーに相談してください。

- ①車いす
- ②クッション、電動補助装置等の一定の車いす付属品
- ③特殊寝台
- ④マットレス、サイドレール等の一定の特殊寝台付属品
- ⑤体位変換器（空気パッド等、体の下に挿入して体位の変換を補助するもの）
- ⑥褥そう（床ずれ）予防用具
- ⑦手すり（取り付け工事を伴わないもの）
- ⑧歩行器
- ⑨歩行補助杖
- ⑩移動用リフト（吊り具の部分を除く）
- ⑪スロープ（取り付け工事を伴わないもの）
- ⑫痴呆性老人徘徊感知機器（外へ出ようとしたときに、センサーが感知して家族に知らせるもの）



Q2：介護保険で購入できる用具はありますか。

A2：介護保険で、下記の用具を購入することができます。購入した場合、費用（1年度に10万円が限度）の9割にあたる額（最高9万円）が介護保険から支給されます。購入後、申請書に領収書とカタログの写し等を添えて申請してください。

- ①腰掛け便座（ポータブルトイレ等）
- ②特殊尿器（電動などにより尿が自動的に吸引されるもの）
- ③入浴補助用具（入浴用いす、浴槽用手すり、入浴台等）
- ④簡易浴槽（空気式または折りたたみ式で移動できるもの）
- ⑤移動用リフトの吊り具の部分

◎福祉用具は、利用者の心身や家族、住まいの状況に合わせて選ぶことが大切です。ケアマネージャーや取扱店に相談して選んでください。  
申請先・問い合わせ 市役所1階・介護保険課（☎998-9420）

小児科医療相談室 Q&A

やまちゃん

Q1：夫は、以前卵アレルギーだったそうです。麻疹生ワクチンは卵アレルギーだと接種できないと聞いたのですが、子どもは大丈夫でしょうか。検査してからのほうがよいのでしょうか。

A1：麻疹生ワクチンは、ニワトリの胚細胞（胎児の細胞）を使って作っているので、卵そのものに対するアレルギーの心配はほとんどありません。また、お父さんに卵アレルギーがあるからといって、お子さんもそうであるとは限りません。

実際にお子さんが卵を食べて、口の中や咽喉が腫脹した、全身に蕁麻疹が生じた、ゼイゼイして呼吸が苦しくなった、血圧が低下した、意識がなくなった等の症状が現われた場合が問題になります。このような経験があるお子さんは、接種の前にあらかじめ検査するほうが安全です。

日常よく見られる、卵を食べると湿疹が増強する程度の人では、麻疹生ワクチンは安全に接種できます。

今までに卵を使った食品（プリン、ケーキ等）を食べても、前述のような症状になったことがなければ心配ないでしょう。



Q2：1歳になる娘を持つ母です。先月、麻疹の予防接種を受け、10日後ぐらいに副反応が出るかもしれないと言われました。その10日後から、鼻水・鼻づまりがひどく、今も治っていません。熱はなく、水分は取ることができます。

副反応の症状は、発熱、発疹と聞いています。これは副反応なのか知りたいです。また、鼻水の薬を飲ませても大丈夫でしょうか。

A2：麻疹ワクチンの副反応には、有効成分である麻疹ウイルスが増殖するために生じるものと、ワクチンに含まれる安定剤、添加物によって起こるものがあります。

後者の場合、副反応の出現が早く、ほとんどが接種して48時間以内に起こっています。前者では、ウイルスが増殖して症状が出るまでに一定の潜伏期（6～10日）があります。症状の多くは発熱で、時に発疹を伴うことがあります。37.5度以上の発熱が接種者の20%で見られますが、38.5度以上の発熱となるとぐっと少なくなります。

ご質問の鼻水・鼻づまりは、実際に麻疹にかかったときに出現する症状の一つです。したがって、可能性はありますが、副反応として報告に出てきません。

どちらかという、新たにかぜをひいたと考えたほうがよいと思います。発熱を伴わない症状の軽いかぜであれば、ワクチンによる抗体獲得には影響ないと思います。また同様に、小児に処方される鼻水の薬を飲んでも抗体獲得に問題はありませ

お子さんに関する相談にお答えします。相談は郵便や下記のアドレスで随時受け付けています。  
あて先 〒359-0025・所沢市上安松1224-1  
所沢市市民医療センター・小児科相談係  
アドレス yamachan@tokorozawa-iryuu-center.jp

マウスのつばやき

▶世界最高峰エベレストに63歳で登頂に成功した記事を目にした。女性では、最高齢だそうである。「拍手!」この記事を読んで私も勇気づけられた。とりあえず航空公園の散歩から始めようかな。(♥)  
▶これからは、一人ひとりが環境について考えていかなければならないと痛感した。職場ではできても、家ではできていないことが多いような気がする。これを機会にエコライフを始めてみます。(◆)  
▶家族で潮干狩りに行きました。思いもよらぬほどの収穫があり、朝・昼・晩とアサリ料理のオンパレードとなりました。良かったのか、悪かったのか…。今度は、少し考えて取ろうと思います。(♠)